

令和2年度

# 学校関係者評価書

評価対象期間 自：令和2年4月1日

至：令和3年3月31日

中央工学校

学校関係者評価委員会



# 目 次

1. 目 的	1
2. 学校関係者評価	1
3. 評価項目	1
4. 組 織	1
(1) 学校関係者評価委員会	1
(2) 任 期	1
5. 実 施	1
6. 評価要領	2
7. 自己評価概要	2
(1) 自己評価項目	2
(2) 自己評価結果と改善点の概要	4
8. 学校関係者評価結果	5
(1) 会議進行	5
(2) 評価結果	5
9. 総 括	6
10. 項目別評価結果	7
11. 学校関係者委員からの総括意見	19

## 1. 目的

学生が質の高い実践的な職業教育を享受できるよう、学校運営の改善と発展を目指すため学校評価（自己評価・学校関係者評価）を実施する。

実践的な職業教育を目的とした、自らの教育活動その他の学校運営について、社会のニーズを踏まえた目指すべき目標を設定し、その達成の適切さ等について評価する。評価結果に基づき、学校として組織的・継続的な改善を図る。

## 2. 学校関係者評価

卒業生・企業・業界団体等の学校関係者などを選任し、令和2年度の学校業務について、学校が自ら行った自己評価結果についての評価を行い、改善に向け専門的な助言を行う。

## 3. 評価項目

評価項目（評価の観点4項目）は次による。

- ・自己評価の内容が適切かどうか
- ・自己評価の結果を踏まえた今後の改善方策が適切かどうか
- ・学校の重点目標や具体的方策等が適切かどうか
- ・学校運営の改善に向けた実際の取組みが適切かどうか

## 4. 組織

### (1) 学校関係者評価委員会

委員長：長田 達也	機械・CAD系担当
委員：齋藤 琢朗	建築系担当
小松原 学	土木測量系担当
小島 章	デザイン系担当
長嶋 哲夫	国際情報系担当
須賀 洋介	卒業生
五明 早苗	教育関係者
星野 輝夫	保護者
高濱 一雄	地域住民

(敬称略・順不同)

事務局：山下 光明 教務課

### (2) 任期

委員任期を令和2年4月1日から令和4年3月31日（2年間）とする。

## 5. 実施

令和3年3月5日（金）中央工学校1号館会議室において、学校関係者評価委員会が開催された。

## 6. 評価要領

自己評価書を学校関係者評価委員に事前配布し、評価結果の確認を行った。各委員から得た評価および改善点・意見等を集約し学校関係者評価委員の報告とした。

なお、会議の進行及び必要な事務は学校（事務局）が行い、自己評価結果に対する公正な評価に努めた。

## 7. 自己評価概要

### (1) 自己評価項目

自己評価項目は、文部科学省による「専修学校における学校評価ガイドライン」に準拠し、本校の実状に合わせ、必要な取捨選択を行った。自己評価の項目は次の通り。

#### ア. 教育理念・目標・人材育成像（大項目）

- ①学校の教育理念・目的・育成人材像は定められているか（小項目）
- ②学校における職業教育の特色はあるか
- ③社会のニーズを踏まえた学校の将来構想を抱いているか
- ④教育目標・育成人材像・特色・将来構想などが、学生・保護者・関係業界等に周知されているか
- ⑤各学科の教育目標・育成人材像・特色は、業界のニーズに向けて方向づけられているか

#### イ. 学校運営

- ①目的等に沿った運営方針が策定されているか
- ②運営方針に沿った事業計画が策定されているか
- ③各規程等は整備されているか
- ④地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか
- ⑤教育活動に対する情報公開が適切になされているか
- ⑥情報システム化等により業務の効率化が図られているか

#### ウ. 教育活動

- ①教育理念に沿った教育課程の編成・実施方針が策定されているか
- ②各学科のカリキュラムは体系的に編成されているか
- ③授業評価の実施体制はあるか
- ④関連分野の企業等の連携により、カリキュラムの編成・見直し等が行われているか
- ⑤成績評価及び進級・卒業判定の基準は明確になっているか
- ⑥教員資質向上の為に研修が行われているか

#### エ. 学修成果

- ①就職率の向上が図られているか
- ②資格取得率の向上が図られているか
- ③卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか

## オ. 学生支援

- ①就職・進学に関する支援体制は整備されているか
- ②学生相談に関する体制は整備されているか
- ③学生に対する経済的な支援体制は整備されているか
- ④学生の健康管理を担う組織体制は整備されているか
- ⑤課外活動に対する支援体制は整備されているか
- ⑥保護者との連携は構築されているか

## カ. 教育環境

- ①施設・設備は、教育上の必要性に充分対応できるよう整備されているか
- ②実習施設・インターンシップ等について充分整備されているか
- ③防災に対する体制は整備されているか
- ④防犯に対する体制は整備されているか

## キ. 学生の受入れ募集

- ①学生募集活動は適正に行われているか
- ②学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか
- ③学納金は妥当なものになっているか

## ク. 財務

- ①中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか
- ②予算・収支計画は有効かつ妥当なものになっているか
- ③財務について会計監査が適性に行われているか
- ④財務情報公開の体制整備はできているか

## ケ. 法令等の遵守

- ①法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか
- ②個人情報に関し、その保護の為の対策がとられているか
- ③自己評価の実施と問題点の改善を行っているか
- ④自己評価結果を公開しているか

## コ. 社会貢献・地域貢献

- ①学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか
- ②学生のボランティア活動を奨励しているか
- ③地域に対する公開講座・教育訓練の受託等を積極的に実施しているか

## サ. 留学生（国際交流）

- ①留学生の受入れについて明確な方針を持って行っているか
- ②留学生の受入れ・在籍管理等について適切な手続きがとられているか
- ③留学生の学習支援について、適切な体制が整備されているか

## シ. 新型コロナウイルス感染症への対応

- ①手洗いや咳エチケットなどの基本的な感染症対策が整備されているか
- ②3つの密（密閉・密集・密接）を回避する対策が整備されているか
- ③学生や教職員の感染が判明した場合の対策が整備されているか
- ④学生や保護者に対し、学事日程や授業計画等の変更が周知されているか
- ⑤学修機会の確保や感染リスクの低減を考慮した授業が適切に実施されているか
- ⑥学生や保護者に対し、修学支援などの情報が周知されているか
- ⑦学生が安心して就職活動ができる体制が整備されているか

## (2) 自己評価結果と改善点の概要

### ア. 教育理念・目的・人材育成像

建設業界では IT 化に対応できる若手技術者の育成が急務となっている。また、これら技術教育の他、他者との協調性・コミュニケーション能力といった要素も求められている。これら学習機会の場として、アクティブラーニングなどの授業手法を活用しその育成に努める。

### イ. 学校運営

令和元年度の自己評価結果を踏まえ作成された、「令和 2 年度中央工学校運営計画」に基づき学校運営に努めている。

また、令和 2 年 4 月より「改正健康増進法」・「東京都受動喫煙防止条例」の全面施行を受け、学校敷地内全面禁煙とした。喫煙について、社会人としてのマナーを養うよう指導を強化する。

### ウ. 教育活動

各学科の教育理念に基づく課程により、教育活動が行われている。さらに、教員は教育内容の高度化・多様化に対応するため、教員研修に取り組んでいる。

令和 2 年度はコロナ禍の影響により、予定されていた様々な研修が中止・変更となった。

### エ. 学修成果

在学中の資格取得率の向上にあたり、コロナ禍に配慮した特別対策授業の実施に向け学生が積極的に取り組めるような指導環境を整える。

### オ. 学生支援

「新たな高等教育の修学支援新制度」が令和 2 年度より実施された。これにより、経済的に厳しい世帯の学生の修学状況が大幅に改善された。今後も引続き有効活用を図りたい。

### カ. 教育環境

第二期王子キャンパス整備計画も順次実施され、教育環境の整備・向上に努めている。防災面では、職場巡視を定期的実施し有事の際の避難経路等を確認している。

また、防災備蓄品について、その保管状況を学生手帳に記載することで学生に周知を図る。

### キ. 学生の受け入れ募集

学生募集活動は、おおむね適正に行われている。入学者の促進、退学者の削減を目的とした入学前指導の検討・実施を行う。

### ク. 財務

「中央工学校における中期計画」を策定し、再編計画に着手している。その為には財務基盤の維持・向上を図る必要がある。

### ケ. 法令等の遵守

関連省庁への届出をはじめ、適正な運営に努めている。引続き学校行事の見直しや曜日入替による授業週数の均等化、休暇期間の見直し等により、安定的な授業時間数の確保を行う。また、遠隔授業実施に伴う関連法令等の調査・研究を行う。

## コ. 社会貢献・地域貢献

ボランティア活動の奨励については、授業時間の確保が優先されるため実施は難しいが、学校行事などを通じて意識向上に努めている。引き続き学生のボランティア活動の奨励に努める。

## サ. 留学生（国際交流）

在籍管理については滞りなく行われており、今後も管理を徹底する。

## シ. 新型コロナウイルス感染症への対応

新型コロナウイルス感染拡大防止に向けた様々な取組みが行われている。with コロナの社会において、学修機会の確保・教育の質の維持はとても重要である。

今後、様々な学習システムの構築および学生支援を継続的に行うことでその維持を図る。

## 8. 学校関係者評価結果

### (1) 会議進行

新型コロナウイルス感染拡大防止の為、学校関係者評価委員へ自己評価書を事前配布、その際に必要に応じ自己評価委員より説明を加え、評価結果の確認を行った。

各委員から得た評価および改善点・意見等を評価項目毎に評価シートに集約し、学校関係者評価委員に代わり、自己評価委員から土田教務部長へ報告し評価結果とした。

### (2) 評価結果（評価の観点 4 項目 に対する評価）

学校関係者による評価の観点に照らし合わせ、評価委員の評価を得た。委員による意見を集約すると次の通り。

#### ア. 自己評価の内容が適切かどうか

令和2年度の自己評価書より、評価内容の確認をした。昨今の課題を加え自己評価を行うなど積極的な取り組みが見られ、概ね良好な評価がなされていることが確認できた。適切な自己評価結果と判断する。

#### イ. 自己評価の結果を踏まえた今後の改善方策が適切かどうか

改善策は概ね適切と判断できる。さらに、より良い改善を図るため学校関係者評価委員の視点から一部助言を加えた。今後の改善に役立ててほしい。

#### ウ. 学校の重点目標や具体的方策等が適切かどうか

自己評価の結果を反映させた「令和2年度 重点管理指針」が示されている。新年度に向けて、具体的方策が盛り込まれた「令和3年度 中央工学校運営計画」策定に期待する。

#### エ. 学校運営の改善に向けた実際の取組みが適切かどうか

令和元年度の自己評価・学校関係者評価結果を反映した取り組みが確認できた。概ね適切と判断する。



## 9. 総括

令和2年度における学校業務について、自己評価書に目を通し、学校関係者委員として意見を取りまとめ評価を行った。

コロナ禍において、新たに加えられた評価項目についてもその取組みが理解できた。また、昨年度より引続き検討課題となっていた項目については、委員の意見を参考に改善に向けて取り組んでほしい。その他については、学校関係者評価の観点と照らし合わせても、概ね適切な評価であると総括する。引続き、学生が質の高い職業教育を享受できるよう、学校運営の改善に努めてほしい。

なお、学校関係者評価委員による各自己評価項目に対応する意見を、次ページ以降にまとめた。今後、改善の参考としたい。

## 10. 項目別 評価結果

### (1) 教育理念・目的・人材育成像

	評価項目	適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1			
1-1	学校の教育理念・目的・育成人材像は定められているか	4	3	2	1
1-2	学校における職業教育の特色はあるか	4	3	2	1
1-3	社会のニーズを踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4	3	2	1
1-4	教育目標・育成人材像・特色・将来構想などが、学生・保護者・関係業界等に周知されているか	4	3	2	1
1-5	各学科の教育目標・育成人材像・特色は、業界のニーズに向けて方向づけられているか	4	3	2	1

評価結果	適切：○○○○○○○○○○	不適切：
------	---------------	------

#### 自由記述

○適切である。

○大きく評価できます。中央工学校の卒業生を優先して採用しています。

○中央工学校の卒業生の企業での評価が高い要因は、実務に徹底的にこだわり、校是に則った教育がされているからであろう。IT化に最も乗り遅れた建設業界は、急ピッチにデジタルトランスフォーメーションをはじめ大きな変革期にある。そのような中、中央工学校においても、変革期に対応できるイノベーション意識の高い人材をこれまで以上に輩出してほしい。

○堅実・誠実で社会性豊かな技術者育成を目標にされていて、コミュニケーション能力の向上を含め、人づくり教育を積極的に推進されている点を評価します。

○コロナ禍においてはコミュニケーション能力などの教育以外の要素も求められると思われれます。

○「体験・実物確認」の屋外型実習や人間涵養教育の軽井沢研修等がコロナ禍のため出来なくなった。中央工学校の特色である職業教育を生かすため、with コロナの時代にどう対応するのか。業界の求める人材像・コミュニケーション能力・積極性・忍耐力等の技術教育以外の要素をどう取り入れるか今後の課題である。

## (2) 学校運営

	評価項目	適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1			
2-1	目的等に沿った運営方針が策定されているか	4	3	2	1
2-2	運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4	3	2	1
2-3	各規程等は整備されているか	4	3	2	1
2-4	地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4	3	2	1
2-5	教育活動に対する情報公開が適切になされているか	4	3	2	1
2-6	情報システム化等により業務の効率化が図られているか	4	3	2	1

評価結果	適切：○○○○○○○○○○	不適切：
------	---------------	------

### 自由記述

○妥当だと思う。

○企業においては、近年非常に高いレベルでコンプライアンスを求められる傾向にあり、法令順守やコンセンサスといった枠を超え、社会に求められる基準を正しく理解する必要がある。学生の頃より、指導の中でコンプライアンスについて考え、理解する機会を作っていたのであれば、より即戦力として評価される人材を育成できると考えます。

○喫煙の問題ですが、喫煙の健康被害を具体的に説明されてはいかがでしょうか。

○生活指導主事を中心に毎朝、職員が学生の登校マナーを指導。日中は学生の生活マナーや路上喫煙等を注意・指導されている。お陰で、最近では路上喫煙等はほとんど見られない。

○新型コロナによるリモート授業中心で、対面授業と実習が少ない一年だった。教育環境の変化に見合った教育活動に改善することを検討してほしい。4～5月の期間は、テキスト・資料の配布や、学生の方向性を示してほしかった。2カ月の休校は、学生に経済面・心理面で打撃を与えた。一部、他大学のように一定額の返還金を考えても良かったのでは。

○適切と思われます。

### (3) 教育活動

	評価項目	適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1			
3-1	教育理念に沿った教育課程の編成・実施方針が策定されているか	4	3	2	1
3-2	各学科のカリキュラムは体系的に編成されているか	4	3	2	1
3-3	授業評価の実施体制はあるか	4	3	2	1
3-4	関連分野の企業等の連携により、カリキュラムの編成・見直し等が行われているか	4	3	2	1
3-5	成績評価及び進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4	3	2	1
3-6	教員資質向上の為の研修が行われているか	4	3	2	1

評価結果	適切： ○○○○○○○○○○	不適切：
------	----------------	------

#### 自由記述

○適切に行われている。

○新型コロナウイルスに関する情報を更新することで、教育活動への影響とその対策連携を図ることが必要と思われます。

○新型コロナウイルス感染拡大による教育活動への影響は大きく、その対策としてカリキュラムの編成・成績評価・進級基準等、全て見直す必要がある。リモート授業は当初、画像・音声・授業内容・スピード等、学生にとっては分かりづらく、理解不十分のまま行われたとの意見もある。資料の提供、分かり易い話し方、質疑等、「わかる授業」を提供してほしい。

○適切かつ積極的な教育活動により中央工学校の高いレベルが保たれていると感じた。日頃からの努力に対し敬意を表したい。社会のニーズによりマッチさせ活躍する卒業生を輩出するために、急速なスピードで変革する今の社会にあわせ、先導的な学外の教育事例や、企業における新しい取組みなど、常に校外の事例を教員が参考にできる場を作っていけることが大切だと考えます。

#### (4) 学修成果

	評価項目	適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1			
4-1	就職率の向上が図られているか	(4)	3	2	1
4-2	資格取得率の向上が図られているか	4	(3)	2	1
4-3	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	(4)	3	2	1

評価結果	適切： ○○○○○○○○○○	不適切：
------	----------------	------

#### 自由記述

○高い就職率、卒業生・在校生の社会的な活躍・評価からも学修成果は高いと判断します。

○卒業生・在校生のフォローは評価します。

○就職率の向上のための多様な施策について、学校の努力は非常に素晴らしい。今後も、卒業生が社会から高い評価を受けることで、中央工学校の評価が上がり受験生の増、在校生のモチベーション向上に寄与することを期待しています。そのためにも、卒業生の活躍について積極的なPRをしてほしいと思います。卒業生が社会のニーズをフィードバックすることは、実践的な教育の質向上にも寄与するのでは。

○コロナ禍での新しい授業・実施方法などが必要に思われます。

○就職率 97.8%は中央工学校の社会的・技術的評価の反映であり、保護者の安心・信頼の基礎となっている。コロナ禍で合同企業説明会、インターンシップの中止等、採用側・学校側にも不満足な状態が続いている。就職指導課・担任がそれを少しでも解消する努力・工夫が必要でないか。また、在学中の資格取得向上に取組める体制・指導の強化は実行してほしい。

## (5) 学生支援

	評価項目	適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1			
5-1	就職・進学に関する支援体制は整備されているか	4	3	2	1
5-2	学生相談に関する体制は整備されているか	4	3	2	1
5-3	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4	3	2	1
5-4	学生の健康管理を担う組織体制は整備されているか	4	3	2	1
5-5	課題活動に対する支援体制は整備されているか	4	3	2	1
5-6	保護者との連携は構築されているか	4	3	2	1

評価結果	適切： ○○○○○○○○○○	不適切：
------	----------------	------

### 自由記述

○適切であると思う。

○オンライン開催による保護者会等、コロナ禍の工夫がされている。

○就職についてはほぼ100%の就職率であるが、現場の厳しさに耐えられず2~3年で退職するケースもある。卒業後のフォロー・研修等、若手人材の育成にも目配りしてほしい。特にコロナ禍でリモート中心に勉強した卒業生が企業・社会に適応できるかが心配である。

○適切な学生支援が行われている。

○中央工学校の学生は夏休みも課題に取組み、アルバイトの時間が取りづらいと聞いています。限られた時間を学業に集中するためにも経済的な支援について、多様なメニューが備わっていることは素晴らしいと思いました。個々の家庭の事情に応じていつでも相談できる窓口があることは良いと思う。

(6) 教育環境

	評価項目	適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1			
6-1	施設・設備は、教育上の必要性に充分対応できるよう整備されているか	4	3	2	1
6-2	実習施設・インターンシップ等について充分整備されているか	4	3	2	1
6-3	防災に対する体制は整備されているか	4	3	2	1
6-4	防犯に対する体制は整備されているか	4	3	2	1

評価結果	適切： ○○○○○○○○○○	不適切：
------	----------------	------

自由記述

○インターンシップ等がコロナ禍の為に無くなり残念です。防災・防犯に対する意識を高めた方が良いでしょうと思います。

○本年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の為、オンライン授業など苦労されている様子が見られました。コロナ終息後は、新校舎の教育効果が発揮されることを期待します。

○体験型学習をすすめるために新校舎（2号館）は大いに活用すべきである。また、インターンシップ・軽井沢研修はコロナ対策を行いながら再開すべきである。防災対策と避難訓練については、コロナ禍にあっても実行すべきである。

○実習室は企業から見ても高いレベルで整備されている。教室で知識を積み、さらに実際の現場を見学することで、就職後にギャップを感じることなく活躍できると思う。防災については、教員・学生の安全・安心を満足させるとともに、地域住民への寄与も一考されると良いでしょうと思います。

○学校内の施設も新しくなり、素晴らしい環境だと思います。

(7) 学生の受け入れ募集

	評価項目	適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1			
7-1	学生募集活動は適正に行われているか	4	3	2	1
7-2	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4	3	2	1
7-3	学納金は妥当なものになっているか	4	3	2	1

評価結果	適切： ○○○○○○○○○○	不適切：
------	----------------	------

自由記述

○校内各所にある教育成果の展示は、外部からの理解に非常に役に立っていると思う。学校見学時に、本学の魅力を伝える手段として訴求力がある。また、少人数学科があることは多様なニーズに応えられるため素晴らしいと思う。受験生への認知度を上げる手法について検討してほしい。

○ネットの活用をもっとされたし。

○適切だと思う。学生募集活動にもう少し力を入れてほしい。

○退学者の削減の必要性を！

○110年の校歴、10万人を超える中堅技術者の建築・土木産業への人材貢献、知名度の高さなど社会的な評価は高い。建学の精神である校是「堅実」と、教育方針である「厳しい実務教育」「人間涵養教育」をコロナ禍でも貫いている姿をあらゆる広報手段でアピールすべきである。中途退学者の削減のため、入学前の周知・選別を強める必要がある。



(8) 財務

	評価項目	適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1			
8-1	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4	3	2	1
8-2	予算・収支計画は有効かつ妥当なものになっているか	4	3	2	1
8-3	財務について会計監査が適正に行われているか	4	3	2	1
8-4	財務情報公開の体制整備はできているか	4	3	2	1

評価結果	適切： ○○○○○○○○○○	不適切：
------	----------------	------

自由記述

○適切に行われていると思う。

○入学者を確保し、ドロップアウトしないようフォローすることが財務基盤の安定に寄与していること、それに対し学校が努力されている事が良く理解できた。

○職員、一人ひとりの意識の高さを感じます。

○入学者のドロップアウト対策として、リアルタイムな出欠管理できめ細かなかつ、迅速な各学生への対応をする事を研究されたいかかでしょうか。

○財務基盤の確立、予算・収支計画、会計監査は適正と評価している。少子化の中で、一定数の入学者を確保するための教育内容の見直し、広報体制の整備が必要である。退学・除籍者の減少、卒業生の定着援助も視野に入れるべきである

(9) 法令等の遵守

	評価項目	適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1			
9-1	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4	3	2	1
9-2	個人情報に関し、その保護の為の対策がとられているか	4	3	2	1
9-3	自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4	3	2	1
9-4	自己評価結果を公開しているか	4	3	2	1

評価結果	適切： ○○○○○○○○○○	不適切：
------	----------------	------

自由記述

○評価しています。

○自己評価の実施と改善をルーチンとして適切にまわし、その結果を公表していることは非常に素晴らしい取組みであると思う。学内のコンプライアンスをいかに第三者的な視点でチェックできるかは重要なことであり、継続して頂きたい。

○法令順守、個人情報の保護に関しては問題無し。

(10) 社会貢献・地域貢献

	評価項目	適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1			
10-1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4	3	2	1
10-2	学生のボランティア活動を奨励しているか	4	3	2	1
10-3	地域に対する公開講座・教育訓練の受託等を積極的に実施しているか	4	3	2	1

評価結果	適切： ○○○○○○○○○○	不適切：
------	----------------	------

自由記述

○貢献していると思います。

○今年はコロナ禍によるリモート授業のため、学生ボランティア活動に時間が取れなかったが、地域貢献・社会貢献を目的とした活動を学校は奨励・援助すべき。新校舎の地域への活用はコロナ対策を施しながらアピールすべき。

○見える活動を期待します。

○春・秋の交通安全週間の交通整理活動を役職者が率先し、地元町会員と一体となって実施されている。  
(本年は新型コロナウイルス感染拡大防止の為、中止となった) また、教職員が通学マナーを指導し、生活指導主事が毎日、近隣町内のタバコの吸い殻・ゴミ拾い等地域の環境美化に貢献されている。

○新校舎の有効活用については、企業との連携をより一層進めることができれば良いと思います。ボランティア活動について、弊社では社内イントラネット上に専用のHPを作り、社員の活動を後押ししています。また、ボランティア休暇や社内報での表彰などボランティアを勧めています。ご参考になれば紹介します。

(11) 留学生 (国際交流)

	評価項目	適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1			
11-1	留学生の受入れについて明確な方針を持っているか	4	3	2	1
11-2	留学生の受入れ・在籍管理等について適切な手続きがとられているか	4	3	2	1
11-3	留学生の学習・就職支援について、適切な体制が整備されているか	4	3	2	1

評価結果	適切： ○○○○○○○○○○	不適切：
------	----------------	------

自由記述

○適切に行われている。

○留学生が母国でどうやって中央工学校を知ることができるのか、学校がどのような仕掛けをしているのか興味があります。コロナ禍において海外との往来については規制が伴う中で、継続的に留学生が安心して来日できるよう、引続きご努力頂ければと思います。

○留学生⇔海外現地校⇔留学生。本校と現地校、一体で留学生の増大を。

○コロナ禍において、生活・勉学・帰国など、困難を抱えている留学生を支援する中央工学校の姿勢は、国際貢献として社会的にも評価されている。今後も留学生の課題を解決しながらすすめてほしい。

## (12) 新型コロナウイルス感染症への対応

	評価項目	適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1			
12-1	手洗いや咳エチケットなどの基本的な感染症対策が整備されているか	4	3	2	1
12-2	3つの密（密閉・密集・密接）を回避する対策が整備されているか	4	3	2	1
12-3	学生や教職員の感染が判明した場合の対策が整備されているか	4	3	2	1
12-4	学生や保護者に対し、学事日程や授業計画等の変更が周知されているか	4	3	2	1
12-5	学修機会の確保や感染リスクの低減を考慮した授業が適切に実施されているか	4	3	2	1
12-6	学生や保護者に対し、修学支援などの情報が周知されているか	4	3	2	1
12-7	学生が安心して就職活動ができる体制が整備されているか	4	3	2	1

評価結果	適切： ○○○○○○○○○○	不適切：
------	----------------	------

### 自由記述

○リモートへの対応が早く整備され適切であると思う。

○学生の体調管理は苦心されていると思います。体温測定が入館時にチェックできるなど、学生からの申告に頼らない方策も必要かと思います。また、with コロナ時代の教育のやり方（教室のあり方、授業の進め方等）がどのように変わっていくのか興味があります。企業では、onlineの強み・弱みに苦心しており、特に若い世代において対面が減少した中で、どのようにモチベーション、メンタルケアをしていくか苦勞しています。情報交換ができればありがたいと思います。

○日に日に変わる状況ですが、安全に。学生・先生方の命を守ることです。

○室内の感染対策として換気だけでなく、次亜塩素酸噴霧やオゾン発生によるウイルスの不活性化等も考えていただければよろしいかと思います。

○学生の命を守る事、学内でクラスターを出さないことは徹底された。学生は4～5月の休校時、学校からの指導が無く、勉学の目標が与えられなかった。今後の学校運営の指導・改善に活かしてほしい。学生の就職活動において、進路を決める就職情報の与えられ方も不十分だった。

○集団感染に対する対応に感謝しています。今後も全力でお願いします。

○遠隔授業の導入等、学校施設内での徹底した三密防止策が取られていた。

○対応はまだまだ続くと思いますが、気を抜かずに継続するしかないと思います

## 11. 学校関係者委員からの総括意見

○コロナで大変な中、学校関係者の方々の対応で、リモートで授業を受け、感染者が出ていないのは感謝しかありません。

○コロナ禍において学校が一丸となって教育にあたられていることに心より敬意を表します。良く考えられた自己評価書を拝見し、あらためて御校の日頃の努力が良く理解できました。これから少子化が進む中で、新たな“中央工学校生となりうるニーズ”をどのように開拓していくか興味があります。例えば、コロナ禍で不調の業種の方が、全く違う業種に変わるなど、社会単位で違う業種に対応するために教育が必要になる場合や、今後増えていくアクティブエンジニアが定年延長や再雇用で新しい分野にチャレンジする場合など、幅広い世代への教育が提供できるようになれば素晴らしいと思います。今後は、SDGsなど対外的に、よりメッセージを発信していく取組みもご検討されると良いと思います。

○新型コロナウイルス感染拡大により、職員の皆様はご苦勞されていると思いますがくれぐれも体に気を付けてください。

○コロナ禍の一年、建学の目的、校是、人材像の方針をどう貫いたか。コロナ禍でリモート授業中心の学習が続けられた。厳しい実務教育、実技・実習はリモート授業が中心のコロナ禍で、どのように行われたのか。人間涵養教育を目指す軽井沢研修、学生同士の交流と、学び合いの学園祭・体育祭やクラブ同好会は中止された。学生にとってこの一年は、自宅からリモート中心の学習で学生同士の交流や学び合いは少なかった。全ては新型コロナウイルス感染拡大による外的な教育条件の悪化、制限であったのは理解できる。2021年からのアフターコロナの時代に、建学の精神・目的をどう生かしたら良いのか、中央工学校が求める人材像をどう作り上げるか、学校評価の実践と時代の要請に答え、さらなる変化で成長してほしい。

○コロナ禍の逆境を利用して、新しい教育体制を確立し、より良い教育システムができる事を願っています。

○自己評価書は具体的で分かり易く記述されていて、適切なものであったと思います。今年度の経験が来年以降、色々な形で生かすことができると良いと思います。

○長い歴史の中で偉大で多彩な卒業生の方々、また有為な在校生達を知り、御校の良さを実感しています。今年の学生は当初（6・7月）は路地裏での集団喫煙、連れ立っての歩行、自転車の放置が多々見られたが、最近は全く目撃しなくなった。職員の方々に感謝するとともに、これからも適切なご指導をお願いします。

以上